

R 4年度 事業報告

社会福祉法人 ミルトス会

令和4年度における当法人並びに各事業所の事業報告は、次のとおりである。

1, 法人全体について

(1) 令和4年度当法人理事会・評議員会審議事項等について

1) 理事会

①第 180 回理事会 (R4,5,28)

「決議事項」

「令和3年度事業報告・事業報告の附属明細書及び監事監査報告の件」

「令和3年度計算関係書類・財産目録及び監事監査報告の件」

「ミルトス会就業規則の一部改定の件」

「社会福祉法人ミルトス会職員給与規程の一部改定の件」

「社会福祉法人ミルトス会定款細則の一部改定の件」

「駿東学園介護浴槽事業の件」

(1) 本事業の実施について

(2) 本事業の名称と実施年度について

(3) 本事業の予算について

(4) 本事業実施要綱について」

「定時評議員会の招集の件」

「報告事項」

(1)社会福祉法に係る補償契約書締結に伴う理事長の利益相反取引の件

(2)理事長の職務執行状況(理事長専決事項を含む)の報告について (R4, 3, 1～R4, 5, 6)

②第 181 回理事会 (R4,8,11)

「決議事項」

「監事候補者選出の件」

「臨時評議員会の招集の件」

③第 182 回理事会 (R4,9,24)

「決議事項」

「理事長の選定に関する件」

「事務長人事に関する件」

「社会福祉法人ミルトス会経理規程細則の一部改定の件」

「報告事項」

「新型コロナウイルス感染者対応の経過について」

④第 183 回理事会 (R4.11.5)

「決議事項」

- 「令和 4 年度駿東学園拠点区分第 1 次補正予算書の件」
- 「令和 4 年度定期監事監査における指摘事項の是正・改善状況の件」
- 「社会福祉法人ミルトス会定款細則の一部改定の件」
- 「社会福祉法人ミルトス会職員給与規程の一部改定の件」
- 「ミルトス会パートタイム職員就業規則の一部改定の件」

「報告事項」

- 「駿東学園介護浴槽事業に係る報告事項について」
- 「理事長の職務執行状況（理事長専決事項を含む）の報告について」

(R4, 5, 7～R4, 10, 8)

⑤第 184 回理事会 (R5.3.21)

「決議事項」

- 「令和 4 年度駿東学園拠点区分第 2 次補正予算書の件」
- 「法人各事業所管理者等の件」
- 「令和 5 年度ミルトス会及び各事業所事業計画の件」
- 「令和 5 年度駿東学園拠点区分当初予算書の件」
- 「社会福祉法人ミルトス会職員給与規程の一部改定の件」
- 「社会福祉法人ミルトス会経理規程細則の一部改定の件」
- 「駿東学園預り金規程の一部改定の件」
- 「社会福祉法人ミルトス会定款細則の一部改定の件」
- 「ミルトス会各事業所運営規程の一部改定の件」
- 「個人目標に対する考課規程の一部改定の件」
- 「社会福祉法に係る補償契約の内容の決定並びに補償契約書締結に伴う理事長の利益相反取引の件」
- 「社会福祉法に係る保険契約の内容の決定の件」

「報告事項」

- 「令和 5 年度に係る監事監査実施計画の件」
- 「理事長の職務執行状況（理事長専決事項を含む）の報告について」

(R4, 10, 9～R5, 2, 28)

2) 評議員会

①第 74 回評議員会 (R4,6,18)

「報告事項」

- 「令和 3 年度事業報告について」

「決議事項」

- 「令和 3 年度計算書類（貸借対照表及び収支計算書）及び財産目録の承認の件」

②第 75 回評議員会 (R4.8.23)

「決議事項」

「富川喜八郎氏を監事に選任する件」

(2) 監事監査について

監査は、業務及び会計監査を期中と決算時に監事のための監査チェックマニュアル等に則り実施した。

①業務監査実施日

決算監査：令和4年5月16日

期中監査：令和4年10月25日

②会計監査実施日

決算監査：令和4年5月16日、17日

期中監査：令和4年10月24日、25日

③監事意見

監事からは、期中監査及び決算監査において、会計に関する各事項は適正に処理されている旨の意見を頂いた。業務に関しては期中監査において、雷により故障した火災報知機の新規入れ替え修繕工事が遅れている状況について、火災報知可能な代替え機器の設置を行なうよう指摘を受けた。指摘を受け、令和4年11月11日に仮設的に中古の機材を取り付け、令和5年2月1日に新しい火災報知機を設置し、修繕工事が完了した。

(3) 静岡県等の指導監査、立入等関係について

①水道法第 39 条第 2 項に基づく水道施設の立入検査

・実施日：令和4年10月27日(木)

・立会者：江藤信一、高木徳雄

・検査者：静岡県東部健康福祉センター 環境部 生活環境課 石川氏

小山町役場上下水道課 西山氏

・結果：指摘事項なし

②消防立ち入り検査

・実施日：令和5年2月8日(水) 小山消防署(石坂氏、他2名)

・立会者：池野忍防火管理者、菊池純也、菊池静夫、高木徳雄

・結果：指摘事項なし

(4) 登記関係について

・資産の総額登記：令和4年6月22日登記

・理事長変更登記：令和4年9月26日登記

(5) 情報公開について

改正社会福祉法に従い、財務諸表等電子開示システム、法人ホームページ・法人季刊誌並びに法人事務所に開示書類を公開並びに備え置きした。また、障害福祉サービス等情報公表制度に従い、障害福祉サービス等情報公表システムに登録した。

(6) 法人全体の主な事業計画についての実績

1、「経営組織のガバナンスの強化」「事業運営の透明性の向上」「財務規律の強化」「地域における公益的な取組」を法人役員の相互牽制のもと、継続して行っていく。これらに

関する中期行動計画の重点項目は以下の通りである。(計画)

- ①「コンプライアンス遵守の徹底」・・・強化職員を各分野において設定しコンプライアンス遵守の強化を図る。(計画)
 - *駿東学園(施設入所支援・生活介護)、短期入所駿東学園、クララ寮の運営規程の変更届を静岡県に令和4年4月7日に届出した。
 - *駿東学園地域活動支援センターこでまり、日中一時支援事業、駿東学園相談サポートセンターなでしこの運営規程の変更届を小山町に令和4年4月7日に届出した。
 - *令和4年度介護給付費等算定に係る体制等に関する届出書{駿東学園(施設入所支援・生活介護)、短期入所駿東学園、クララ寮}、並びに令和4年度障害福祉サービス等処遇改善計画書を令和4年4月13日に静岡県へ提出した。
 - *社会福祉法第59条等の規定に基づき所轄庁に届け出る書類を令和4年6月23日に静岡県に提出した。
 - *令和3年度福祉・介護職員処遇改善加算及び福祉・介護職員棟特定処遇改善加算に係る実績報告を令和4年7月26日に静岡県に提出した。
 - *「障害福祉サービス等情報公表システム」事業所情報届出が令和4年7月26日に承認された。登録事業所名:駿東学園(生活介護、施設入所支援)、短期入所駿東学園、クララ寮、駿東学園相談サポートセンターなでしこ
 - *令和4年10月以降の新たに新設された福祉・介護職員等ベースアップ等支援加算に係る計画書を令和4年8月26日に静岡県に提出した。
 - *静岡県福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金の実績報告書を、令和5年1月20日に提出した。
 - *令和4年9月24日の新理事長就任に伴う変更届出を、関係機関(静岡県、小山町)に提出した。
 - *介護サービス事業所等物価高騰対策支援金(障害分)を11月28日に申請し、1月16日に決定した。
 - *新型コロナウイルス感染症に係る障害福祉サービス事業所等に対するサービス継続支援事業における補助金申請に係る所要額調を提出した。2月27日に補助金内示額の決定通知を受け申請書を提出した。
 - *就業規則の一部改定を令和4年6月8日に、給与規程の一部改定を令和4年6月8日、令和4年11月11日、令和5年3月28日に、目標に対する考課規程の一部改定を令和5年3月31日に、労働基準監督署に届出した。
 - *コンプライアンス遵守の徹底に向けて、権利擁護・虐待防止委員会活動における委員それぞれの研鑽を求めた。
 - *届出や申請等の提出資料の作成にあたって、これまで関わってこなかった責任者が携わるよう配慮した。
 - *地域における公益的取組については、明倫地域まちづくり推進協議会活動においてさつまいも掘りを令和4年11月10日に実施した。

②「アフターコロナに向けた地域交流」・・・今後求められる感染症対策を勘案した上で取り組み、アフターコロナに向けた地域交流について議論を実施し、今後のより良い地域交流について検討していく。(計画)

＊各行事担当者に実施内容についての更なる工夫を求めた。

＊地域の感染状況に加え、当施設でのクラスターの経緯もあり、地域との関わりは希薄な状況が続いた。今後もこのような感染対策等は継続されることを前提に検討を図り、学園で作成した製品の販売を地域に求めたり、SMSの活用など、地域に発信していく形で進めていくこととした。

＊6月26日に不二聖心女学院の生徒及びPTA役員、保護者によるボランティア活動を受け入れた。感染防止対策を勘案し、活動内容は敷地内環境整備として利用者さんとの交流は自粛して行なった。

＊10月2日に開催された小山町ふれあい広場には、担当職員のみだったが参加して、地域の方との接点を維持した。

＊年間を通して、感染防止対策を勘案して、一部のボランティアの受け入れは実施したが、受け入れを自粛することが多く、交流の機会は少なかった。

2, 利用者支援においては、人権並びに権利擁護の視点を大切した意思決定支援をより明確に反映させた個別支援計画の策定により、自己決定が少しでも多くできるような充実した生活を送ることができるよう実践をしていく。(計画)

①個別支援計画(意思決定支援計画を含む)の充実と実践。(計画)

＊個別支援計画に則り、個別に実施し、感染症対策として手洗い等衛生面に重点を置いた支援をした。

＊個別支援計画の評価等の説明について、新型コロナウイルス感染防止に配慮して保護者等の来園並びに対面形式での説明を避けるため、関係資料を郵送で確認していただく形で行なった。資料には「同意書」と併せて、「個別支援意向確認書」を同封し、必要なお要望等を返送していただく形で行なった。

②高齢化に伴う体力・機能低下予防に努める。(計画)

＊個別支援計画に則り、個別に実施した。

＊理学療法士によるリハビリについては新型コロナウイルス感染状況を勘案して実施することができた。

③権利擁護、虐待防止の充実を図る。(計画)

＊権利擁護・虐待防止委員会の活動計画を立て、7月、11月、1月に開催した。

＊身体拘束防止に関する対応について職員に周知を図った。

＊権利擁護に関する園内研修を12月から2月にかけて全職員を対象にグループ別に実施した。

④「現状に合わせた支援体制の再構築」・・・日中活動の充実を図り、高齢利用者及び若年利用者のどちらもが、満足できる活動について議論し実施していく。(計画)

＊日中活動における活動内容に幅をもって支援できるよう午後の時間に活動時間を設

定した取り組みを始めた。午前中のグループ活動、午後の活動の活動実績を振り返り、コロナ対策を理由に活動が伴わなかった反省と共に、そうした状況においても何らかの形で活動していく体制を組んで実践していくことを確認した。

*利用者の各寮での住み分けについて検討した結果、現時点では現状を継続した上で、個々の生活に必要な環境設定、個々の生活の在り方などを検討していくこととした。

⑤「ニーズに対する的確な設備投資」・・・IoT 機器等が進化する中でニーズに対しての意見聴取と集約を行う。(計画)

*介護浴槽の故障に伴い、新たな介護浴槽を購入し設置した。購入にあたっては、「令和4年度エイジフレンドリー間接補助金」の申請を行い、交付を受けた。

*職員間における情報共有について Iot 機器活用におけるニーズの集約を進めた。そして、新型コロナウイルス感染者対応期間におけるスカイプの活用、学園内での会議等で ZOOM の有効活用、会議等資料のペーパーレス化や情報伝達の有効手段のため、ソフト（デスクネット）の活用に向けて検討し、試行していくこととした。

*今年度まで使用していたキャラバンの廃車に伴い、車いすを利用する方が通院やドライブなど移動や娯楽手段として活用できる福祉車両の購入を進めた。購入にあたっては、社会福祉法人ミルトス会経理規程に則り、仕様書を作成の上、3社見積もりによる業者選定を行ない契約した。

⑥「満足度調査の実施・満足度の向上」・・・前回実施した満足度調査の問題点について精査を行い改善した満足度調査書を作成する。(計画)

*検討部会内において、前回実施した調査書を基に内容や面談の仕方について検討した結果を基に調査書を作成した。

3、当法人の非常災害（南海トラフ巨大地震、富士山噴火、風水害等）の発生時における事業継続計画並びに福祉避難所の運営計画と小山町の計画とのすり合わせ等の協議を引き続き実施していく。併せて、新たな車両進入路についても小山町と協議を継続していく。(計画)

*小山町危機管理局からの依頼で、個別避難計画作成におけるモデル事業についての説明があり、今後関係機関と共に参画していくこととした。そして、小山町個別避難計画作成に係る会議に参画した。

*非常災害に関係する小山町とのすり合わせや新たな車両進入路についての協議は進まなかった。

4、コロナ禍にあっては最重要課題である感染症対策については、感染症対策委員会を中心に随時協議し、必要に応じてマニュアル等の更新を行ない、職員に周知を図ると共にガウンテクニック等の実践を日常的に行っていく。また、アフターコロナにおける娯楽の充実を図るために旅行等の検討を行う。(計画)

*感染状況が好転しない期間が長く、感染防止対策については、県や地域の感染防止対策に関係する通知等を基に、必要に応じて江藤嘱託医に相談を求め、感染症対策委員会において協議し、職員に周知を図った。

*8月にコロナクラスター感染により、総合的な振り返りを行ない、BCPの更新を進め、感染症に係る研修を実施した。

*利用者、職員の体調管理の把握と、職員の定期的な抗原検査の実施により早期対応を図った。

*新型コロナウイルス感染対策との認識が今後変わってくることとなるが、そうした情報を基に、随時事業所としての感染防止対策を明確にし、今後の行事の計画や外出などの楽しみの機会の提供に反映していくこととした。

5, 人材確保と育成については、今後も感染症対策が求められることを前提として、リモート機能の利用による研修参加をベースに、職員個々のニーズ、階層別等を考慮した計画を作成する。(計画)

また、中期行動計画における重点項目は以下の通りである。

① 「人材育成における理念の浸透」・・・中期行動計画検討部会において、新たな職員行動規範の再作成を行う。(計画)

*部会内で現在の倫理綱領及び職員行動規範について再確認しながら検討事項の整理をした結果、現在の倫理綱領及び職員行動規範の周知につながるような園内研修などを次年度の計画において盛り込むことを確認した。

② 「研修制度の再構築」・・・研修ニーズの集約による研修の実践並びに階層別体系化の作成を行う。(計画)

*外部研修についての計画を作成した。

*サポーターズ・カレッジの活用を前提に、視聴期間を設け、研修ニーズを基に職員に視聴してもらい、次年度活用していくこととした。

*園内研修において、グループ研修を計画し、権利擁護・虐待防止についてテーマ設定をして実施した。

③ 「職員層に合わせた組織の見直し」・・・職員体制の変更のための準備を行う。(計画)

*職員組織の見直しについて、次世代職員の育成の見通し、職員への聞き取りなどを基に、新たな職員組織の骨格、役職名の変更、次年度人事案等を検討した。その結果、課長、主任、副主任を配置し、中堅職員や女性職員の登用等を反映し、次年度からの新たな職員組織として職員に周知した。

*理事長と事務長の人事分離については、次年度より実施していくこととし、次年度は事務長を空位とし、牽制体制を確認するために、その職務に事務主任があたることとした。

6, 日常的な財務・会計面においては、財務分析を行いながら安定した収入が得られるよう努める。また、駿東学園利用者増を図るため5人の新しい利用者の入所を計画する。(計画)

*新型コロナウイルス感染状況により体験的短期入所の利用などを進められなかったが体験利用直前の抗原検査体制を講じることで、見学や体験利用を随時進め始めた。

*新たな入所者の確保について、6月に1名、7月に2名、1月に1名の方が入所された。

しかし、今年度は4名の方が亡くなられ、利用者増に至らなかった。

1月から2月にかけて1名の方の入所に向けた体験的短期入所を実施したが入所にはつながらなかった。

7、駿東学園地域活動支援センターこでまりの魅力上昇を図るために、利用者及び地域の方を対象にニーズ調査を行いこでまりがどのような事業所であれば魅力的なのか方針を決定する。(計画)

*調査対象の範囲や調査内容などについて検討し、御殿場特別支援学校に通う生徒の保護者の方を対象にしたニーズ調査の実施に向けて、調査票を作成し、ニーズ調査は次年度に実施することとした。

*こでまりの活動内容や配置職員等も含め、今後のこでまりにおける課題等について、担当職員間で周知した。

2、各事業所について

各事業については、当法人の定款に定めてある各社会福祉事業（以下参照）の経営は、「平和」「安息」「家庭」を理念とし、利用者さん並びにそのご家族に安心をもっていただき、幸せや豊かさを感じていただける支援を生活プログラム（事業計画）に則り実施した。

定款記載事業	サービスの種類	事業名
(1)第一種社会福祉事業		
障害者支援施設の経営	障害者支援施設（施設入所支援、生活介護）	駿東学園
(2)第二種社会福祉事業		
・障害福祉サービス事業の経営	共同生活援助	クララ寮
	短期入所	短期入所 駿東学園
・地域活動支援センターの経営	地域活動支援センター	駿東学園地域活動支援センターこでまり
・特定相談支援事業の経営	特定相談支援事業	駿東学園相談サポートセンターなでしこ
(3)定款に記載のない小規模事業	日中一時支援事業	駿東学園日中一時支援事業

(1) 利用者状況について

①各事業所利用実績（全事業所） 注：（ ）は、前年比 (R5,3,31 現在)

事業所	項目	定員	現員	開所日・	利用者延人数	利用者/日
		(人)	(利用者数)(人)	営業日(日)	/年(人)	(人)
駿東学園	施設入所支援	60	51 (±0)	365 (±0)	18,706 (+366)	50.3 (+0.9)
	生活介護	60	51 (±0)	261 (±0)	13,374 (+251)	51.3 (+0.9)

短期入所	4	10 (+7)	365 (±0)	295 (+93)	0.8 (+0.2)	
クララ寮	5	4 (±0)	360 (-2)	1,391 (-42)	3.9 (-0.1)	
こでまり	15	17 (-1)	250 (+4)	2,059 (+21)	8.3 (±0)	
日中一時支援事業	3	6 (+2)	365 (±0)	102 (+18)	0.3 (+0.1)	
相談支援事業	基本相談		101 (+4)	268 (+7)	1078 (+154)	4.0 (+0.5)
	計画相談		99 (-2)	268 (-7)	295 (-22)	1.1 (-0.1)

②各事業所利用者平均支援区分（全事業所）

事業所	駿東学園	短期入所	クララ寮	こでまり	日中一時
支援区分	5.5	4.7	4.3	4.4	—

③各事業所年齢構成（全事業所）

単位：人 注：（）は女性

事業所	年齢	20以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80～
	駿東学園	0	2 (1)	4 (2)	6 (4)	15 (7)	13 (7)	9 (6)	2 (0)
短期入所	0	2 (0)	4 (1)	2 (1)	2 (1)	0	0	0	
クララ寮	0	0	0	1 (0)	0	2 (1)	1 (1)	0	
こでまり	0	6 (2)	4 (3)	2 (0)	3 (1)	2 (1)	1 (1)	0	
日中一時	6 (3)	0	0	0	0	0	0	0	

④各事業所平均年齢（全事業所）

単位：歳

事業所	性別	駿東学園	短期入所	クララ寮	こでまり	日中一時
	男性	58.0	34.1	58.0	44.6	17.0
女性	56.7	42.0	70.0	41.5	16.7	
全体	57.3	36.5	64.0	43.1	16.8	

⑤利用者の入院状況

（駿東学園） 入院した利用者数 9名

（入院状況内訳）

単位：日

科	内科	外科	整形外科	脳外科	合計
延べ日数	106	60	209	6	381

(クララ寮) 入院した利用者数 1名

(入院状況内訳) 単位：日

科	外科	合計
延べ日数	14	14

⑥駿東学園・クララ寮利用者の帰省状況

新型コロナウイルス感染状況が落ち着かず、当初予定していた帰省期間だけでなく、年間を通して帰省が困難な状況が続き、帰省はできなかった。

利用者入退所について

◎駿東学園

入所者数	4名	退所者数	4名
------	----	------	----

(2) 各事業所職員配置について(全事業所)

(R5,3,31 現在)

①(駿東学園)(短期入所)(日中一時)

職種	管理者	サビ管	医師	看護師		生活支援員		音楽療法士	
	(常兼)	(常兼)	(非兼)	(常兼)	(非兼)	(常兼)	(非兼)		(非兼)
現員	1	1	2	2	1	22	11	0	3
常勤換算	1	1	0.2	2.7		31.2		0.4	
	34.3								
職種	栄養士	事務員		調理員					
	(常兼)	(常兼)	(非兼)	(常兼)	(非兼)				
現員	1	1	2	4	2				
常勤換算	1	2.5		5.1					

②(クララ寮)

職種	管理者	サビ管	世話人		生活支援員		事務員
	(常兼)	(常兼)	(常兼)	(非兼)	(常兼)	(非兼)	(常兼)
現員	1	1	0	4	0	3	1
常勤換算	1	0.5	1.1		1.1		0.1

③(こでまり)

職種	施設長	生活支援員		事務員	調理員	看護師
	(常兼)	(常兼)	(非兼・専)	(常兼)	(常兼)	(常兼)
現員	1	1	3	1	1	1
常勤換算	1	2.8		0.1	0.5	0.1

④(なでしこ)

職種	管理者	相談支援専門員
	(常兼)	(常専)
現員	1	1
常勤換算	1	1

(3) 日中活動について

① (駿東学園) (こでまり) (短期入所) (日中一時)

主な日中活動は、次のとおりである

- 1) 午前中は3つのグループ活動に分かれて活動した。また午後にもグループ活動として参加希望のあった利用者に対して活動支援した。
 - ・ひまわり、園芸グループ：木工作品磨き、シクラメン栽培、野菜作り、多肉植物、散歩等
 - ・土くれ、ワークグループ：花瓶、湯飲み、小鉢、平皿、ちぎり絵、カレンダー作り、散歩等
 - ・くれよん、ドリームグループ：結び織り、刺し子、刺繍等の手芸作品作り、リハビリ、散歩等
 - ・午後のグループ活動：多肉植物寄せ植え、空き缶のリメイク、地域のゴミ拾い
- 2) レクリエーションでは、音楽的な活動・健康維持に努めた体操・塗り絵や紙芝居、建物内の装飾等の創作活動を実施した。
- 3) コロナ禍における地域での感染状況を勘案して行なわれる日中活動については以下のとおりである。
 - ・外活動：野菜作り、環境整備、散歩等
 - ・創作活動：あんず寮、くるみ寮に分かれて、手芸活動、塗り絵等
 - ・散歩、リハ活動：あんず寮、くるみ寮に分かれて、散歩やリハビリ等
 - ・こでまり、日中一時：ドリーム班の教室で散歩や、創作活動等
 - ・個別外出(外食)については、各寮2か月に1回程度利用者の希望を確認しながら近隣の飲食店で実施しているテイクアウトを活用し、少しでも外食気分が味わえるように対応した。但し、地域での新型コロナウイルス蔓延期間については、テイクアウトの利用を中止し、学園厨房にて折詰を用意しテイクアウト気分になるような食事提供や、特別なおやつや誕生会のケーキについては工場等で生産した安全管理が確認できるものを提供した。

② (クララ寮)

火曜日から土曜日は、「駿東学園地域活動支援センターこでまり」を利用し、上記のこでまりの日中活動を行った。こでまり休日時は、コロナ禍における感染防止のため、長時間の外出並びに人混みの多い場所への外出は控え、クララ寮内外の環境整備等を実施した。また、8月の駿東学園でのクラスター発生時、12月に1名の感染があった時、或いは体調不良等は随時、必要に応じて駿東学園と一体的な形での支援に切り替え、一時的に生活の場を駿東学園に移して支援を行なった。

(4) 各種行事について (全事業所)

今年度の行事は新型コロナウイルス感染予防対策のため、下記のとおり実施した。

行事名	予定日	実施日	場所等
花見	4月6日	4月6日	学園周辺をグループごとで散策後、密にならない形で駿東学園グラウンドでお花見メニューを提供。
ハイキング	5月12日	5月12日	駿東学園近辺及びグラウンドでハイキングコース設定したが、途中から雨のため館内での活動に変更した。 昼食はハイキングメニューを提供した。

6月の行事	6月7日	6月7日	「沖縄」をテーマにした模擬旅行を企画した。足柄コミュニティーセンターを貸し切り「沖縄」をテーマにした売店を設定し、マイクロバスに乗って会場に出かけてお買い物を楽しみ、昼食やおやつに沖縄名物料理等を提供した。
七夕	7月7日	7月7日	駿東学園各寮ホールで実施した。
盆踊り	未定	中止	主催者より中止の案内があった。
納涼祭	7月20日	7月20日	各寮に分かれて、室内ゲーム、利用者さんや職員の出し物を楽しみ、昼食とおやつに夏祭りであるであろう料理等を提供した。
花火大会	8月30日	10月3日 あんず 10月8日 くるみ	コロナ感染クラスターにより延期し、各寮で設定したそれぞれの予定日に実施した。
バーベキュー	9月15日	10月29日	メインとなる焼肉は予定した日に厨房調理により提供した。バーベキュー企画としては、屋外でバーベキューセットを使用したおやつを提供した。
運動会	10月8日	10月8日	今年度もコロナ禍により外部の方の参加は自粛し、学園利用者、職員でミニ運動会を実施した。
お疲れさま会 (棟旅行と忘年会 代替行事)	11月17日	11月17日	学園内で寮ごとに分かれてレクレーションと、昼食にテイクアウトでの仕出し料理を提供した。
クリスマス会	12月25日	12月25日	学園内で各寮に分かれて実施。参加者は利用者、職員のみとした。
どんど焼き	未定	1月14日	代表の職員のみ参加。後日、利用者さんへおやつの時間に団子を提供した。
ひな祭り	3月3日	3月3日	各寮に分かれて実施。おやつに桜餅を提供した。

(5) 感染症関係について (全事業所)

- ①4月に職員2名が時期を別にして新型コロナウイルスに感染した。内1名が栄養士であったため、調理員の方の自宅待機期間等において、厨房業務を停止して外注による食事提供を行なった。感染の広がりは見られなかった。

- ②8月に駿東学園とクララ寮利用者及び職員が新型コロナウイルスに感染し、クラスター期間内で30名が罹患した。事業継続計画（BCP）を基に感染症対策委員会を中心に対応を考慮し、通所事業の一時営業停止、クララ寮利用者の生活場所を駿東学園に移す等、法人事業所一体となって対応する形で勤務調整を行ない、県への報告、嘱託医の助言を得るなど終息に向けた対応を重ね、約1か月で終息した。
- ③12月に利用者2名（駿東学園1名、クララ寮1名）、駿東学園職員1名が新型コロナウイルスに感染し、更新した事業継続計画（BCP）を基に感染拡大防止に努めた。感染者の広がりはなく、12月中に終息した。
- ④感染防止対応については、感染症対策委員会が中心となって、地域の感染状況に応じた自粛緩和を検討し、職員に周知を図った。
- ⑤職員の感染早期発見のため、県からの抗原検査キットの提供を受け、週2回定期検査を実施し、毎週県に実績報告をした。（11月26日～令和5年3月31日）
- ⑥新型コロナウイルスワクチン接種については、接種希望のある利用者及び職員に4回目接種を11月から12月にかけて実施した。
インフルエンザ予防接種については11月に実施した。
- ⑦3月13日以降のマスク着用の自主判断、5月予定の5類移行等、社会全体的に対策の緩和が進んでくる見通しにおいて、厚労省や県からの通達を基に事業所としての対策について検討した結果、基本的な感染防止対策を継続していくことを前提に、自粛していた内容を可能な範囲で緩和してくこととした。
- ⑧インフルエンザ及びノロウイルス罹患者はいなかった。

(6) 事故報告等について（駿東学園）（クララ寮）（短期入所）（こでまり）

①事故報告

項目		件数				合計件数
		駿東学園	クララ寮	短期入所	こでまり	
怪我等	通院あり	26	0	0	0	81
	通院なし	43	0	1	2	
薬	誤与薬	3	0	0	0	
	再与薬	0	0	0	0	
	未与薬	4	0	1	0	
その他		1	0	0	0	

内、6件は障害福祉サービス等の提供に係る事故報告要領入所利用者に則り静岡県並びに関係市町に報告した。

②ヒヤリハット 17件

以上、事故報告等については、職員会議並びに朝の打合せ等において、情報共有すると共に改善策等について職員間で共通認識を持った。

(7) 人権・権利擁護について（全事業所）

全職員を対象に毎月権利擁護チェックリストの配布（毎月の職員会議日）により自己点検を実施回収した。回収したチェックリストの確認及び整理を担当職員で実施し、毎月のチェックリストによる自己点検を権利擁護に対する職員の意識の向上に役立てた。

定期的に権利擁護・虐待防止委員会を身体拘束適正化委員会とかねて開催することとし、4月16日、7月20日、11月17日、令和5年1月18日に開催した。

会議では、昨年度1年間のチェックリストの精査並びに課題点の確認並びに今年度の取組についての確認、開催し、権利擁護チェックリストの内容の精査、適切かどうか判断に迷う支援として挙げられた事例の検討、身体拘束対応の実施状況の確認及び評価、また、職員に対する法人内研修について内容を検討した。

また、県から配布された「障害者虐待防止及び身体拘束等の適正化に向けた体制整備等の取り組み事例集」を基に各事業所における身体拘束に対する取り組み内容を確認し、法人内研修に活用した。

(8) 防災対策について（全事業所）

避難訓練：以下の訓練を実施した。

	駿東学園	クララ寮
火災想定避難訓練	8回	5回
地震想定避難訓練	4回	5回
風水害想定訓練	—	1回

その他）・新任職員を対象とした避難訓練等防災全般に研修実施（6月16日）

- ・毎月1日に非常伝言ダイヤル（171）の利用訓練を実施。
- ・防災食のローリング備蓄による消費と補充を継続して実施した。

注）駿東学園には、こでまり、短期入所、日中一時を含む

(9) 防犯対策について（全事業所）

①（駿東学園）（こでまり）（短期入所）（日中一時）（なでしこ）

- ・夜勤者はセコム緊急通報装置を常時携帯し勤務した。
- ・夜間（18:30～翌6:30）は建物施錠を実施した。
- ・学園敷地内屋外2か所に防犯カメラを設置しているが、3月に故障していることがわかり、新規購入を進めた。

②クララ寮

- ・昼夜問わず防犯会社とのセキュリティ契約で防犯対策にあたった。

(10) 苦情（要望）について（全事業所）

苦情（要望）解決委員会を1回開催した。苦情（要望）の件数については、法人ホームページ、季刊誌ミルトスに掲載予定並びに職員、利用者保護者に報告。苦情（要望）の件数は下表のとおりである。 (件数)

	駿東学園	クララ寮	こでまり	短期入所	日中一時	なでしこ	合計
苦情	1	0	0	0	0	0	1
要望	2	0	0	0	0	0	2
合計	3	0	0	0	0	0	3

(11) 職員研修等（全事業所）

①法人内研修

開催年月日	研修内容	参加者の職種及び人数
R4. 4. 18	新人研修 法人の理念と福祉について」「知的障害全般」「職員倫理綱領と行動規範」	こでまり施設長(1)、生活支援員(2)、厨房職員(1)
R4. 4. 27	「生活プログラム」「駿東学園サービス内容」	クララ寮管理者(1)、サービス管理責任者(1)、生活支援員(2)、厨房職員(1)
R4. 4. 27	「権利擁護」「個別支援計画」	クララ寮管理者(1)、サービス管理責任者(1)、生活支援員(2)
R4. 5. 2	ガウンテクニック研修	生活支援員(2)
R4. 5. 2～23	ガウンテクニック研修	生活支援員(28)、相談員(1)
R4. 5. 12	新人研修 「事務関係」	事務員(1)、生活支援員(1)
R4. 6. 8	新人研修 「社会人の心構え」	園長(1)、クララ寮管理者(1)、生活支援員(1)
R4. 6. 15	新人研修 「防災関係」	園長(1)、生活支援員(2)
R4. 6. 16	新人研修 「医務研修」	看護師(1)、生活支援員(1)

R4. 12. 8	<p>権利擁護・虐待防止、身体拘束防止 園内研修会 ～個人ワークとグループワーク～</p> <p>テーマ：適切な支援の再確認 ～食事、排泄、入浴、声掛け～</p> <p>進行：サービス管理責任者、クララ寮管理者、相談 支援専門員</p> <p>助言：園長</p> <p>参加グループ：13 グループ</p>	生活支援員(2) 事務員 (1) 看護師(1) 世話人 (1)
R4. 12. 9		生活支援員(4) 厨房職 員(1)
R4. 12. 29		生活支援員(4) 看護師 (1)
R5. 1. 5		生活支援員(5) 園長 (1)
R5. 1. 11		生活支援員(2) 看護師 (1) 世話人(1)
R5. 1. 12		生活支援員(5)
R5. 1. 12		生活支援員(2)
R5. 1. 17		調理員(3)
R5. 1. 18		栄養士(1) 調理員(2)
R5. 1. 19		生活支援員(3)
R5. 2. 7		生活支援員(3)
R5. 2. 8		生活支援員(2) 事務員 (1)
R5. 2. 13		生活支援員(2) 事務員 (1)
R5. 1. 19		新人研修 「生活プログラム」「駿東学園サービス内容」「権利 擁護」
R5. 1. 30	新人研修 ・法人の概要(理念、基本方針、倫理綱領、職員 行動規範) ・幸せ、豊かさ、安心を求めて ・発達援助のための10の原理 ・こころのケア	施設長(1) 調理員(2)

②法人外研修

開催年月日	研修内容	参加者の職種及び人数
R4. 4. 22	令和4年度 社会福祉法人監事監査研修会 (動画視聴) (静岡県社会福祉協議会主催)	園長(1)、こでまり施 設長(1)、クララ寮管 理者(1)、事務員(1)、 監事2名含む

R4. 4. 28	令和4年度 第1回会員総会 (ZOOM ミーティング) (静岡県知的障害者福祉協会主催)	園長(1)、こでまり施設長(1)、クララ寮管理者(1)、
R4. 5. 9	監事監査研修会 主催：静岡県社会福祉協議会 (WEB 講座)	園長(1)、こでまり施設長(1)、クララ寮管理者(1)、監事(2)
R4. 5. 17	令和4年度小山町福祉教育担当者会議 静岡県社会福祉人材センター事業説明 基調講演 テーマ：「福祉について」原秀人氏 グループ別意見交換、全体会 主催：小山町社会福祉協議会	園長(1)
R4. 5. 24、 25、26	強度行動障害支援者養成研修 基礎・実践 主催：エイドケアカレッジ株式会社エイド WEB 研修	生活支援員(1)
R4. 5. 27	令和4年度 施設長・主任者会議 障害者支援施設部会 地域支援部会 主催：静岡県知的障害者福祉協会 WEB 研修	サービス管理責任者(1)、 クララ寮管理者(1)
R4. 5. 27	福祉職が知っておきたいコンプライアンス講座 主催：静岡県社会福祉協議会 静岡県社会福祉人材センター WEB 研修	生活支援員(1)
R4. 5. 30	イマドキ世代の育て方研修 主催：静岡県社会福祉協議会 WEB 研修	生活支援員(1)
R4. 5. 16～ 5. 30	令和4年度高齢者・障害者施設の為の感染症講座 (初級編) テーマ：感染の基礎知識、標準予防策と経路別予防策、手指消毒、介護場面での感染対策、感染予防の実際、感染症各論、新型コロナウイルス感染症情報、他 主催：静岡県社会福祉人材センター 静岡県社会福祉協議会 (WEB 研修)	生活支援員(1)
R4. 6. 2	令和4年度個別避難計画(災害時ケアプラン)研修会 主催：静岡県・静岡県社会福祉協議会	相談支援専門員(1)
R4. 6. 6	令和4年度 人が育つ組織づくり講座 主催：静岡社会福祉人材センター (WEB 研修)	クララ寮管理者(1)

R4. 6. 9	<p>令和 4 年度第 56 回 静岡県知的障害者福祉協会 大会 (ZOOM ミーティング)</p> <p>事例報告：愛着障害を持つ児童への支援について 県立磐田学園</p> <p>記念講演：対話こそ共生社会を開くカギ 弁護士 大胡田誠氏</p> <p>主催：静岡県知的障害者福祉協会</p>	園長(1)
R4. 6. 9/7. 27 /9. 9	<p>令和 4 年度相談支援従事者 現任研修</p> <p>主催：静岡県健康福祉部障害者支援局 (ZOOM 研修)</p>	生活支援員(1)
R4. 6. 10/ 7. 28/9. 10	<p>令和 4 年度相談支援従事者 現任研修</p> <p>主催：静岡県健康福祉部障害者支援局 (ZOOM 研修)</p>	生活支援員(1)
R4. 6. 13/ 7. 11	<p>知的発達障害者と医療</p> <p>知的障害者施設で必要な医療、また今後必要とされて くる医療的ケア等について基本的な内容を解説</p> <p>主催：静岡県知的障害者福祉協会</p> <p>※8/19～コロナ対応のため欠席</p>	生活支援員(1)
R4. 6. 23	<p>令和 4 年度静岡県社会福祉法人経営者会議 総会 経営セミナー：講演会</p> <p>「社会福祉の変化と社会福祉法人の使命」古郡賢一氏</p> <p>主催：静岡県社会福祉法人経営者協議会</p>	園長(1)
R4. 7. 6	<p>御殿場・小山障害者自立支援連絡会</p> <p>主催：御殿場・小山障害者自立支援協議会</p>	サービス管理責任者 (1)
R4. 7. 13	<p>令和 4 年度 東部成人福祉施設長連絡会 議案審議、新施設長等紹介、情報交換等 講義「小規模法人のネットワークによる共同の在 り方を考える」</p> <p>関係機関より情報提供と依頼 小山町危機管理局</p> <p>主催：東部成人福祉施設長連絡会 (ZOOM 研修)</p>	園長(1)
R4. 7. 20	<p>令和 4 年度経営協 東部地区経営協及び 3 部会合同研修会</p> <p>「人口減少と全世代型社会保障」 山崎史郎氏 (日本医療大学客員教授)</p>	こでまり施設長 (1)
R4. 7. 20	<p>令和 4 年度施設長管理者等研修会</p> <p>(おやま福祉介護アライアンス・ネットワーク会議 主催：小山町社会福祉協議会 (ZOOM 研修)</p>	園長(1)

R4. 7. 24～ 8. 15	第 45 回てんかん基礎講座 主催：公益社団法人 日本てんかん協会 (ZOOM 研修)	生活支援員(1)
① R4. 8. 5/9. 10 ② R4. 8. 4/9. 10	令和 4 年度全国知的障害関係施設長等会議 テーマ「質の高い障害福祉サービスの提供を目指して」―障害者総合支援法改正法施行後 3 年の見直しとこれからの障害福祉― <全体会> 行政説明：障害者総合支援法改正法施行後 3 年の見直しについて 基調講演：中長期的視点から見た障害者福祉サービスの課題 <分科会> 第 3 分科会「地域で暮らしを支える支援体制」 第 4 分科会「福祉サービスにおけるマネジメント」経営者、管理者の役割 主催：日本知的障害者福祉協会 (オンデマンド)	①こでまり施設長 (1) ②園長(1)、
R4. 9. 2	介護福祉士実務者研修 実技スクーリング 実技スクーリング オリエンテーション 介護過程 I、II の復習 ケアプランの読み取り方 アセスメント方法 主催：ニチイ学館沼津支店	生活支援員(1)
R4. 9. 9	介護福祉士実務者研修 実技スクーリング 介護計画作成、フェースシートアセスメント作成、訪問介護計画書、・手順書の作成 主催：ニチイ学館沼津支店	生活支援員(1)
R4. 9. 16	介護福祉士実務者研修 実技スクーリング 介護技術、ボディメカニクス、寝具の整え方 睡眠、体位交換、移乗介助、排泄介助 主催：ニチイ学館沼津支店	生活支援員(1)
R4. 9. 21	委託検査機関の水質検査実施状況の確認 (芝浦セムテック)	クララ寮管理者(1)、 生活支援員(1)

R4. 9. 30	介護福祉士実務者研修 実技スクーリング 医療的ケアを安全に実施するために必要な知識習得の講義、介護技術 主催：ニチイ学館沼津支店	生活支援員(1)
R4. 10. 7	福祉・介護施設の管理者等を対象とした感染症対策講座 「新型コロナウイルス感染症等静岡県状況」 「感染症の発生から収束まで一心構えと基本的感染症対策」 「「クラスター発生時の業務継続のためにはどんな備えが必要か？」」 主催：静岡県健康福祉部感染症対策局感染症対策課 (ZOOM 研修)	園長(1)、 クララ寮管理者(1)
R4. 10. 7	介護福祉士実務者研修 実技スクーリング 介護過程Ⅲ 介護福祉士の実技試験とキャリア段位制度 主催：ニチイ学館沼津支店	生活支援員(1)
R4. 10. 11	介護福祉士実務者研修筆記対策レッスン 無料対策レッスン、実技試験対策レッスン 主催：ニチイ学館 沼津支店	生活支援員(1)
R4. 10. 14	介護計画作成事例に基づき連続する技術動作の演習 ・右麻痺利用者のベッドから端座位、更衣、車椅子移乗 ・左麻痺利用者のベッド端座位から四点杖移動、食席での食事介助 主催：ニチイ学館 沼津支店	生活支援員(1)
R4. 10. 21	・介護現場でのヒヤリハット、事故と対応、ヒヤリハット報告書作成 ・モニタリング報告書の作成 ・再計画の目標設定 ・知識等の習得度評価 主催：ニチイ学館 沼津支店	生活支援員(1)
R4. 10. 23	・口腔内喀痰吸引 ・鼻腔内喀痰吸引 ・気管カニューレ内部の喀痰吸引 ・医療的ケアの評価 主催：ニチイ学館 沼津支店	生活支援員(1)
R4. 10. 30	・気管カニューレ内部の喀痰吸引 ・経管栄養滴下（胃瘻、腸瘻、経鼻経管栄養）	生活支援員(1)

	<ul style="list-style-type: none"> ・救急蘇生法 ・医療的ケアの評価 主催：ニチイ学館 沼津支店	
R4. 11. 15	令和4年度静岡県障害者福祉協会 障害者支援施設部会職員集会 ① 障害者支援施設における芸術活動と人材育成 ② 障害者支援施設における悪性腫瘍に罹患した利用者への対応 主催：静岡県知的障害者福祉協会（ZOOM研修）	園長（1） 生活支援員（2）
R4. 11. 23	社会福祉施設感染対策リーダー研修 <ul style="list-style-type: none"> ・感染対策の基礎 ・新型コロナウイルス感染症について ・新型コロナウイルス感染対策について （動画配信）	施設長（1）
R4. 11. 28	R4年度社会福祉施設等職員防災研修会 1. 地域防災応急計画及び南海トラフ地震対策計画の作成について 2. 社会福祉施設におけるBCPの必要性和自然災害BCPの策定について 等 （オンライン研修）	施設長（1）生活支援員（1）
R4. 11. 29	R4年度県知協日中活動支援部会職員研究集会 1. 中央情勢報告 2. リ・トラウマ現象の怖さについて 主催：静岡県知的障害者福祉協会（ZOOM研修）	施設長（1）生活支援員（1）
R4. 12. 1/15 /22	令和4年度障害児・者福祉サービス事業者説明会（集団指導） （動画視聴） 主催：静岡県健康福祉部福祉長寿局福祉指導課	園長（1）クララ寮管理者（1）施設長（1）事務員（2）
R5. 2. 21	支援者のための成年後見制度研修会 市民後見人養成講座、フォローアップ研修 主催：小山町社会福祉協議会 場所：小山町健康福祉会館2階	相談支援専門員（1）
R5. 2. 24	令和4年度 第2回東部成人福祉施設長連絡会 「福祉職のリフレッシュのために～心地良い仕事に必要なこと～」 （ZOOM研修） 主催：東部成人福祉施設長連絡会	園長（1）
R5. 2. 25	世話人等業務セミナー&合同説明会 主催：静岡県・静岡県知的障害者福祉協会 場所：グランシップ	クララ寮管理者（1）

R5. 2. 28	駿東田方圏域相談支援専門員等フォローアップ研修 主催：静岡県障害者政策課 (オンライン研修)	相談支援専門員 (1)
R5. 2. 28	保健医療部会研究集会 「ウィズコロナに向けた今後の展望と感染症対策について」 (ZOOM 研修) 主催：静岡県知的障害者福祉協会	看護師 (1)
R5. 2. 15/27 /28	令和4年度社会福祉法人指導監査担当職員研修 「社会福祉法人の決算書の見方、財務分析指標の見方」 (オンライン研修) 主催：静岡県	理事長(1) 園長(1) 事務員(1)
R5. 2. 28	おやま福祉介護マライアンス・ネットワーク会議 令和5年度事業検討会 主催：小山町社会福祉協議会 場所：小山町健康福祉会館	園長 (1)
R5. 3. 14	令和4年度 静岡県知的障害者福祉協会 第2回 会員総会 ・議案審議、報告事項等 主催者：静岡県知的障害者福祉協会 場所：シズウェル	理事長 (1) 園長 (1) クララ寮管理者 (1)

③研究会等自己研鑽支援

社会福祉士会等に参加し自己研鑽に努める職員には勤務を配慮。

④資格・免許等取得

- ・介護福祉士資格 1名取得
- ・強度行動障害者支援者養成研修（基礎、実践） 1名取得
- ・介護福祉士実務者研修終了 1名
- ・知的障害者を理解するための基礎講座 1名
- ・防火管理者取得 1名
- ・相談支援従事者現任研修終了 2名

⑤御殿場小山自立支援協議会関係

なでしこの相談支援専門員は、御殿場小山自立支援協議会の運営に運営委員として携わる。会議等は、相談支援専門員が運営会議（12回）、相談支援部会（1回）、日中支援型グループホーム評価会議（2回）に出席し、全体会（1回）には、なでしこ所長と共に出席した。

また、相談支援専門員は、駿東田方圏域相談部会（3回）、運営会議（1回）に出席し、なでしこ所長は、全体会（1回、書面会議）に出席した。

(12) 主な契約、修繕等について (10 万円以上)

・新型コロナ緊急給食 株式会社つぼぐちフードサービス	149,000 円
・会計ソフト保守料 株式会社 CIJ	121,000 円
・冷凍冷蔵庫 北沢産業株式会社	550,000 円
・冷凍冷蔵庫 北沢産業株式会社	401,500 円
・利用者・職員健康診断 公益社団法人有隣厚生会富士病院	698,427 円
・退職金掛金 独立行政法人福祉医療機構	3,872,000 円
・労働保険 静岡労働局	1,116,665 円
・退職金積立 一般財団法人静岡県事業共済会	690,000 円
・福利厚生年会費 社会福祉法人福利厚生センター	510,000 円
・労働災害総合保険・使用者賠償責任保険 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	207,200 円
・社会福祉事業者総合保険 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	370,240 円
・労働保険 静岡労働局	1,093,458 円
・介護浴槽 株式会社東海医療器械	3,749,460 円
・地代 湯山きく枝	147,163 円
・インフルエンザワクチン予防接種 一般財団法人神山復生会神山復生病院	179,800 円
・労働保険 静岡労働局	1,093,458 円
・自動車保険 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	435,400 円
・防火ドア修理 文化シャッター株式会社	245,293 円
・iPad10 台 東栄商工株式会社	528,000 円
・スチームコンベクション サンコー厨房食器	1,155,000 円
・機械浴槽電気工事 株式会社東海医療器械	132,000 円
・くるみ寮 2F 居室系統空調機修繕 株式会社オサコー建設	138,600 円
・お疲れ様会食事 株式会社つぼぐちフードサービス	129,800 円
・くるみ寮エアコン修理 三菱電機ビルソリューションズ株式会社	385,000 円
・くるみ寮女性浴室乾燥機修理 株式会社オサコー建設	132,000 円
・非常灯更新及び外灯架空線修理 株式会社オサコー建設	352,000 円
・くるみ寮女性浴室乾燥機修理 株式会社オサコー建設	132,000 円
・厨房排気ダクト清掃 株式会社浜松空調工業	305,800 円
・利用者健康診断 公益社団法人有隣厚生会富士病院	343,585 円
・職員健康診断、人間ドック 公益社団法人有隣厚生会富士病院	940,578 円
・井戸ポンプ更新 株式会社三協	1,298,000 円
・全自動洗濯機 ハローイワタ	122,440 円
・地代 天野勝	1,643,866 円
・地代 天野政雄代表相続人天野仁	1,536,171 円
・無線 LAN 増設工事 東栄商工株式会社	435,000 円
・クラウドバックアップライセンス 東栄商工株式会社	106,700 円

・自火報受信機取替工事 有限会社富士消防用品商会	1,210,000 円
・くるみ寮通用口電子錠及びスライドドア修繕 株式会社オサコー建設	165,000 円
・AED 有限会社駿東メディカル	422,400 円
・あんず寮居室壁面修理 株式会社オサコー建設	189,200 円
・beat/active サービス利用更新 (年) 富士フィルムビジネスイノベーション	208,560 円
・寝具リース・クリーニング (年) 株式会社ヤマシタ	2,007,500 円
・エレベーター保守 (年) SEC エレベーター株式会社	422,400 円
・害虫駆除 (年) 有限会社関東消毒	257,400 円
・電気工作物保安管理費 (年) 村松電気管理事務所	211,200 円
・水質検査 (年) 芝浦セムテック株式会社	652,300 円
・人事労務管理に関する相談契約 (年) ウィルゴ社会保険労務士法人	198,000 円
・コンサルティング業務 (年) 塩崎崇文会計事務所	792,000 円
・消防用設備点検 (年) 有限会社富士消防用品商会	341,000 円
・浄化槽維持管理 (年) 小山衛生社	132,000 円
・浄化槽、グリスピット清掃 (年) 小山衛生社	937,200 円
・警備保障 (年) セコム株式会社	175,560 円
・デスクネット使用料 (年) 東栄商工株式会社	290,400 円

※嘱託医契約(年)を一般財団法人神山復生会復生病院と 4 月に 1,920,000 円で結んだが、7 月末日で終了し、新たに 8 月に 1,200,000 円で契約した。

(13) 固定資産(器具及び備品等)の取得と除却について

①取得

・冷凍冷蔵庫 北沢産業株式会社	550,000 円
・冷凍冷蔵庫 北沢産業株式会社	401,500 円
・スチームコンベクション サンコー厨房食器	1,155,000 円
・介護浴槽 東海医療器械株式会社	3,881,460 円
・井戸ポンプ 株式会社三協	1,298,000 円
・全自動洗濯機 ハローイワタ	122,440 円
・AED 有限会社駿東メディカル	422,400 円

②除却

・冷蔵庫	107,490 円	平成 10 年 9 月 30 日取得
・楕円テーブル	100,343 円	平成 16 年 3 月 31 日取得
・大型冷蔵庫 (くるみ厨房)	525,000 円	平成 17 年 10 月 24 日取得
・冷凍冷蔵庫	315,000 円	平成 24 年 7 月 30 日取得
・介護浴槽	4,184,250 円	平成 16 年 3 月 31 日取得
・キャラバン	2,860,000 円	平成 8 年 8 月 30 日取得
・スチームコンベクション	422,294 円	平成 16 年 3 月 31 日取得

・ AED 302,400 円

平成 30 年 2 月 9 日取得

(注) 金額については、取得価格。

(14) 会計について (全事業所)

令和 4 年度会計に係る計算書類等及び財産目録は、決算書類のとおりである。

(15) 寄附金について

駿東学園拠点区分 (65 件)	14,300,022 円
(内訳)・法人 (2 件)	4,000,000 円
・駿東学園 (施設入所) (61 件)	10,285,022 円
・クララ寮 (1 件)	10,000 円
・こでまり (1 件)	5,000 円

(16) 労働安全衛生関係について (全事業所)

江藤産業医と契約を締結し職員の健康管理及び健康管理指導にあたり、ストレスチェックも実施した。

また、毎月江藤産業医が来園され、労働安全衛生関係について点検を受けると共に、コロナウイルス感染予防対策に関する助言を仰ぎ、意見交換を実施してご指導を頂いた。

(17) 地域貢献について (全事業所)

新型コロナウイルス感染予防のため、地域貢献として、地域住民との交流並びに知的障害者への理解のための啓発については自粛を継続した、ボランティア団体の受け入れや実習生の受け入れについては、感染状況が比較的落ち着いている状況の時期を考慮し、感染リスクの低い活動内容等に応じて受け入れを再開した。(全事業所)

①地域住民との交流並びに知的障害者への理解のための啓発

- ・小学生に知的障害者への理解の為の啓発のため、明倫小学校との交流 (駿東学園での餅つき) を予定したが、中止した。
- ・北郷地区盆踊り、小山町夏祭りは中止だった。ふれあい広場は規模を縮小した形だったが、開催に参加した。
- ・地元のどんど焼きには職員が代表で参加した。
- ・地元の明倫小運動会への参加も自粛した。
- ・駿東学園隣接のうさぎ沢のホタル観賞の時期に駿東学園の駐車場を解放した。
- ・明倫地域まちづくり推進協議会 (旧称: 明倫地域金太郎計画推進協議会) 実施の地元芋掘りについては 11/10 に感染予防対策を図って参加した。
- ・地元神社会や大脇区班長会議等に参画した。

②ボランティアの受け入れ

- ・新型コロナウイルス感染予防のため、団体での受け入れはできなかったが、地域の感染状況に配慮しながら、下記の方々がボランティア活動をして下さった。

団体または個人	実施日、又は回数	人数	活動内容
不二聖心女学院	6月30日	32名	外部環境整備
音淵正久氏、 音淵早百合氏	4月 5回 5月 6回 6月 7回 9月 2回 10月 2回 11月 6回 12月 6回 1月 6回 2月 11回 3月 7回 (計 58回)	2名	陶芸
毛利正男氏 毛利幸子氏	12月9日	2名	環境整備

③実習生の受け入れ（受け入れ校）

- ・新型コロナウイルス感染予防のため実習の受け入れを制限してきたが、体調管理等を勘案して受け入れを再開した。受け入れ実績は以下のとおりである。

学校名	期間	人数
常葉大学	R4. 10. 10～R4. 10. 20	2名
十文字学園女子大学	R4. 10. 24～R4. 11. 5	2名
	R5. 2. 20～R5. 3. 4	2名
彰栄保育福祉専門学校	R5. 3. 6～R5. 3. 18	2名

④小山町教育委員会との連携

- ・昨年度に引き続き、今年度の受け入れ機会はなかった。

⑤上記の②③④の受け入れ状況

		受入数	受入日数	延人数	合計（人）
実習生（3校）		8（+8）	50（+50）	100（+100）	100（+100）
ボランティア	団体	32（+32）	1（+1）	32（+32）	150（+133）
	個人	4（+1）	59（+42）	118（+101）	
学校教諭		0（±0）	0（±0）	0（±0）	0（±0）
（ ）は、前年比					250（+233）

⑥地域防災等

- ・小山町危機管理局との防災担当者会議において、個別避難計画の作成に向けて小山町としてモデル事業を実施していく計画があり参画した。福祉避難所としての運営や、県道につながる道路の確保などについてその後の進展はなかった。

- (18) 保護者会（行事等含む）について（駿東学園）（クララ寮）（こでまり）
本年度の保護者会との連携状況は、次のとおりである。

- ・保護者会は感染リスクを考慮して開催を控えた中、感染状況が落ち着いた時期で7月3日（日）に感染防止対策を励行して、小山町福祉会館で開催した。その他の期間では感染リスクを考慮して開催出来なかった。
- ・開催出来なかった月は、近況報告等の資料と共に写真などお便りを郵送した。
- ・保護者会役員会は令和5年1月5日に生活プログラム会議として駿東学園で実施した。
- ・面会については、感染症対策により館内での面会の制限を継続し、希望を伺い、窓越しの様子を見ていただく形をお願いした。また、令和5年1月に訪問面会の予定を計画し、保護者の皆様にご希望をお伺いして、希望のあった保護者の方と予定を調整して実施した。
- ・個別支援計画実施状況並びに要望の聞き取りについては、新型コロナ感染リスクを考慮して対面での実施を自粛した。そのため、9月、3月に個別支援計画説明資料を郵送し、それぞれの時期において「個別支援意向確認書」を同封して意向確認を行なった。

令和4年度 事業報告の附属明細書

社会福祉法人 ミルトス会

令和4年度の事業報告の内容を補足する重要な事項について、
該当事項はありません。